



## みのぶ

12月号



11月上旬の青空の下、秋播き小麦の圃場にて雪腐病防除をする農業用ドローン

■発行日/令和5年12月1日/No.1460号

■発行/峰延農業協同組合

〒079-0192 美唄市字峰延37番地

Tel 0126(67)2111 Fax 0126(67)2793

ホームページアドレス <http://www.ja-minenobu.or.jp/>

■編集/総務課 ■印刷/空知印刷株式会社

## 香りの畦みち

ハーブ米生産部会が東京で  
ハーブ米のプレゼン実施

10月24日、東京都新宿区の飯田橋レインボービルで「みどりの北海道米チャレンジ」が開催され、当JAの香りの畦みちハーブ米生産部会の小川浩之部会長（光珠内中央）と当JAの安西営農販売課長が参加しました。

この催しはホクレンと北海道米販売拡大委員会が主催し、「みどりの食料システム戦略」や「SDGs」に沿った環境負荷軽減につながる「2050年までに目指す姿」として示されている「化学肥料

料3割低減」「化学農薬5割低減」の項目等をすでに達成している産地と販売先とのマッチングの機会の場として設けられました。この日、道内から参加したのは9単協11生産部会で、集まった大手卸約30社を前に、環境を配慮した作付方法や取り組みについてプレゼンを行いました。

プレゼン後は販売先のバイヤーへ向けて、米の試食会が開かれ、対面での活発な意見交換が行われました。

今回参加した生産部会がプレゼンした米は、ホクレンが現物市場「みらい市場」に出品し、オーケー

ション方式で落札され、取引が行われる流れとなつており、来場していないバイヤーにも購入機会があることで注目が高まっています。

当JAの安西営農販売課長は「減肥減農薬の米は少數だが今後絶対に必要になつていくことをご理解いただけたのではと思う」小川部会長は「米は日本にくつてはならないものなので、これからも美味しい米作りに取り組んでいきたい」とPRしていました。

## 青年部員が

### 農業用廃プラ受け入れ実施

J Aみねのぶ青年部が10月27日、峰樺3区の農産物検査場所で、組合員が使用して不要となつた農業用廃プラスチックの受け入れを行いました。この活動は資源の再利用を促進することで環境保全を推進できることから年2回実施しており、今年は6月にも受け入れしました。今回は99名の生産者から使用済みのフレコン袋やハウスのビニールなどが持ち込まれ、総重量は約14tになりました。これらの廃プラスチックは前回と同じく苦小牧市にあるリサイクル工場で火力発電所の代替燃料となり、発電所で再利用されます。



会場でプレゼンする  
小川部会長と安西営農販売課長



試食を行いながら参加した  
販売先のバイヤーと意見交換



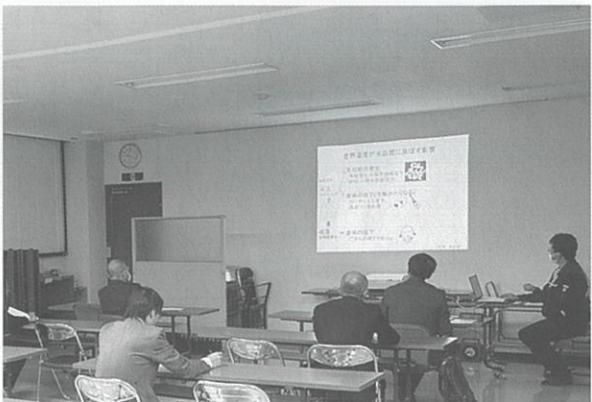
手際良く荷台から下していきます



コンテナからトレーラーへ  
積み込まれていく様子

## 令和5年度役員研修を実施

11月10日、令和5年度のJA役員研修が行われ、職員を含めた11名が参加しました。この日は北海道中央農業試験場岩見沢試験地で直播水稻の育種と水稻の高温障害について視察研修した後、札幌市内へ移動し、一般社団法人北海道報徳社と札幌農漁業機関報徳社の共催による第21回全道報徳研修会に参加しました。会場では二宮金次郎7代目子孫の中桐万里子氏による『二宮金次郎に学ぶ生き方「協同の思想」』と題した講演が行われ、参加者は真剣な表情で耳を傾けていました。



栽培技術について講義を受けている様子

コーポさっぽろのイベントで  
NPO法人Efyと

11月3日、札幌ドームでコーチングセミナー「食べる・たいせつフェスティバル2023」が開催され、当JAの佐藤営農販売課長補佐と農業振興課の高橋職員、NPO法人Efyのメンバーや4名が参加しました。このイベントは食べることの大切さや環境・くらしなどについて子供達が様々な体験ができるプログラムが各企業から多数用意され、当JAのブースでは「おはぎ作り体験」が行われ、40名の子供達が参加しました。



## 参加した子供達に直播水稻「えみまる」の説明をする佐藤営農販売課長補佐

## コープさっぽろのイベントで NPO法人Efyと 食育体験実施

参加した子供たちは当日の朝に  
炊飯された「えみまる」ともち米  
のブレンド米を手で丸め、予め用  
意されていたシート状のあんこを  
使つて丸めたり、きなこやゴマ、  
いちご餡でトッピングして、おは  
ぎ作りを楽しんでいました。また  
当JAの新米「峰ななつぼし」も  
販売され、「今年の新米楽しみに  
していた」とお土産に買うお客様  
がいたほか、隣りのブースではコ  
ーヒーをつぼろ南空知地区委員会が  
当JAのお米「峰」の紙袋を使用  
したマイバック作成を行いました。  
参加したお子さんからは「きれ  
いに丸くできた」「いちご餡が美



「峰」の紙袋を使って米（マイ）バック作り！  
コープさっぽろ南空知地区委員会の皆さん、  
ありがとうございます。

東京原宿で

### 美唄応援イベント開催

美唄市にゆかりのある方に向けて、更なる美唄市の魅力を発信し、知名度を高めていこうと開催されました。会場では今年、独立リーグ球団『美唄ブラックダイヤモンズ』のスペシャルアンバサダー兼テクニカルアドバイザーに就任した元北海道日本ハムファイターズ投手の岩本勉氏のトークショーも開かれ、会場に訪れたお客様たちを楽しませていました。当日会場

11月12日、東京の原宿にあるLIFORK原宿で「北海道ふるさと美唄応援団フェスタin原宿」が開催され、農協青年部員5名と当JA職員が参加しました。このイベントは美唄市地域おこし協力隊や市内の企業などが参加している

味しかつた」と楽しそうに話していました。当JAの佐藤課長補佐は「えみまる」という直播品種の紹介と併せてお米の栽培方法や農業も時代とともに変化していることが伝わつてくれたらしいと思う」と話していました。

に参加した川越農業振興課長は「美唄市出身の方が友達を連れて来てくださつて、買い物を沢山してもらつた。ここから美唄と峰延の地名が浸透してもらえたなら嬉しい」と話していました。



美唄市出身の方が大勢会場にお越しくださいました

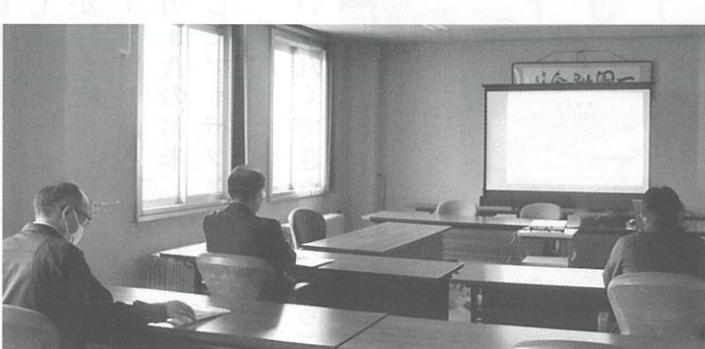
JA北海道大会  
実践フォーラムに  
JA役職員が出席

11月7日、札幌市内のニューオータニイン札幌で開催された「令和5年度JA北海道大会実践フォーラム」に会場参加5名、当JA中会議室でWEB参加3名、計8名の役職員が出席しました。この

フォーラムは、食料安全保障の重要性を再確認し、令和3年11月に開催された第30回JA北海道大会で決議された「『JA運営の好循環』に向けて対話の成果を実践」について、現状の課題をJAグループ全体で共有するとともに、実践状況を加速的に発信することで今後の展開方向や大会で掲げた将来ビジョンの実現を目指すことを目的として開催されました。

会場では、一般社団法人全国農業協同組合中央会顧問の中家徹氏による「食料安全保障と食料・農業・農村基本法の改正について」、北海道大学大学院農学研究院准教授の小林国之氏による「次世代農業者との対話状況調査を踏まえた対話の推進について」と題した基調講演、芽室町農業協同組合審査担当理事・農業部長の村瀬雅道氏による「次世代農業経営者とのつながり」と題した実践事例発表が行われました。会場に出席した当JAの高田豊専務理事は「基調講演を聞いて、今後のJAへの展望について考える際に組織改革の中に日常業務を通じて『対話』を

位置づけて次世代農業者からの信頼の熟成を図り、JA業務の使命を明確化することが重要であると感じた。これまでの取り組みを整理し、確実に実践していくたい」と話していました。



農協の会議室でWEB参加している様子

JAグループ  
基本農政確立全国大会開催

11月13日に東京都内で全国農業協同組合中央会と全国農業者農政運動組織連盟の共同主催による農政確立全国大会が開催され、当JAから伊藤組合長が会場出席、農協会議室でWEB参加の役職員7



当JAみねのぶ  
当日は、会場参加・WEB参加を合わせて  
約4,000名が参加しました

名が出席しました。主催者挨拶に立った全国農業協同組合中央会山野徹代表理事長は、「農政は今、大きな転換点に立っている。食料の安全保障の強化や再生産に配慮した適正な価格形成の仕組みの法制化の早期実現をお願いしたい」と力を込めて訴え、また与党政策責任者挨拶では衆議院の稻津久議員が「農家経営の安定なくして、農業生産の安定と強化は図れない。農業・農村の整備事業予算も、産地パワーアップ事業と併せて強化し、支援を拡充していく」と述べていました。

## 税務研修会を開催



インボイス制度について  
説明を聞いています

11月10日、農協3階大会議室で、税理士法人小島会計の代表小島拓也氏を講師に招き、税務研修会が開催されました。組合員・JA職員計20名が参加しました。講習内容は今年10月から始まつた「インボイス制度」を含め「電子帳簿保存法」「相続時精算課税制度」を中心に講義が行われ、従来の制度からの変更箇所や今後気を付けなければならないこと、制度のメリット・デメリットなどの詳しい解説が行われました。この研修会に

参加した酒巻洋子さん（光珠内町上の沢）は「インボイスは身近な話題になってきたので、農業関係にまつわるお話しは聞き応えがあり、参加して良かったです」と話していました。

## 峰延キャベツ友の会

### 寒玉キャベツの出荷スタート

当JA管内で生産されているキャベツの出荷が始まりました。

峰延キャベツ友の会（高橋勲会長）では、10月31日から週に3回のペースで折込コンテナに6玉入りで150ケースを出荷しています。

作付したキャベツの品種は「湖月SP」で、肉質も柔らかく甘みに富んでいて、気温が下降するほどうまみも増すのが特徴です。

今年の作付面積は300haで7月上旬に播種、7月下旬～8月上旬に定植、出荷の最盛期は1月中旬頃で、2月下旬までを予定しています。

消費者の皆さんにぜひ味わって欲しい」と話していました。

このキャベツは、主にコープさっぽろの美唄店、岩見沢東・南店、江別店、野幌店のほか、札幌圏の店舗に出荷され、青果コーナー、ご近所野菜コーナーにて販売されておりますので、ぜひご賞味ください。



これから新鮮なキャベツを  
消費者の皆様のもとへお届けします

## 年金友の会 研修旅行を実施

高橋勲会長は「今年は定植後の高温で生育に遅れが出て、品質への影響が心配でしたが、順調に生育し、3kgを超える大玉傾向になりました。例年よりも巻きがしつかりした良質なキャベツができたので、

消費者の皆さんにぜひ味わって欲しい」と話していました。

撮影をした後、道の駅とうや湖・とうや水の駅を見学しました。3日間の道中のバス車内では会員同士で近況や健康づくりなどの話題に花を咲かせていました。



みんなで記念撮影をしました

## 農協職員資格認定試験に合格

J A北海道中央会が11月17日、令和5年度農協職員資格認定試験の合格者を発表しました。

当JAの合格者は次のとおりです。合格おめでとうございます。

◇初級（1名）

・小椋遼太（金融課）

## 管内の生産者が秋播き小麦の雪腐病防除を実施



農業用ドローンで防除する様子

表八田重忠さん（峰延町峰延3）と峰延ブルーエーブ（代表岸本久靖さん、光珠内町北）が秋播き小麦の雪腐病防除を実施しました。防除作業面積は約90haの小麦畑で、農業用ドローンを使用して殺菌剤を散布しました。

今年は天候にも恵まれ、作業は

順調に完了できました。

## 農協法交付記念日にあたつてのメッセージ



北海道農業協同組合中央会  
代表理事長 横井 功

昭和22年11月19日に農業協同組合法（農協法）が公布され、今年で76年を迎えました。

戦後の食糧不足の混乱期に、農業者の協同組織の発達を通じ、「農業生産力の増進」と「農業者の経済的地位の向上」を図り、国民経済の発展に寄与することを目的として、農協法が制定され、農協が設立されました。

農協は「農業者による農業者のための組織」であり、協同組合原則に掲げる「自主・自立」「民主的運営」の基本に立ち、相互扶助の精神のもと、幾多の困難な状況を乗り越え、組合員の皆様の営農と生活の安定並びに、より良い地域社会の実現を目指し、今日に至っております。

新型コロナウィルス感染症の位置付けは本年5月より5類に移行

し、コロナ禍以前の日常を取り戻

しつつありますが、各農畜産物の消費は依然として低迷しており、さらに、国際紛争や急激な円安の進行による飼料・肥料をはじめとした生産資材の高止まりが、農業経営に与える影響は甚大なものとなっています。コロナ禍、国際紛争によって、世界の食料需給事情が一変しました。輸出制限を行い、

自国の食料を確保する各国の動きが活発化し、世界的な人口増加による食料不足問題など食料争奪合戦がすでに始まっています。

我が国の食料を安定的にどう確保するのか。今こそ大いに食料安全保障の国民的議論が必要となっています。

J Aグループ北海道は、日本の食料基地であるという使命感に立ち、食料の安定生産・安定供給と農畜産物の需要拡大を両輪として引き続き取り組むことが重要であり、国民の命の源である食を守り続けるにも、まさに新しい農業を築き、未来の世代へ繋いでいかなければなりません。この厳しい時代だからこそ、国民が必要とし消

費する食料はできるだけその国で生産する「国消国産」という考

方は、消費者に知つていただきたい大切なテーマであり、1945年に国連食糧農業機関（FAO）が発足した日、さらに1981年

に国連が「世界食料デー」に定めた日である10月16日を「国消国産の日」として制定し、令和3年に日本記念日協会に登録しました。

今こそ、この国消国産の周知、さらにはJA北海道大会で確認された550万人サポートづくりを推進するべく、JAグループ北海道が一体となって「アグリアクション北海道」と題した統一した取組みをしっかりと実践することが必要となります。

最後になりますが、JAグループ北海道は、協同組合の理念と精神を事業の拠り所とし、今後とも組合員の皆様が夢と希望を持つこと、地域農業とJAの発展に全力でサポートすることをお誓い申し上げ、農協法公布記念日にあたつてのメッセージと致します。

青年部だより

Switch  
JA YOUTH  
Smile

## 本年度を振り返つて JAみねのぶ青年部長

星野功平



本年も残すところ一か月となりましたが、組合員の皆様、農協を始めとする各関係機関の皆様には、平素より青年部の活動に対しまして特段のご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

今年度の青年部活動を顧みますと、ここ数年は新型コロナウイルス感染症の影響で開催出来なかつた新年会・盟友勇退慰労会の開催から始まり、コロナ禍以前の様なスタートを切ることが出来ました。2月には農協職員を交えての意見交換会を行い、農協職員と方々との交流を兼ねて意見交換を行ひました。

3月にはスノーメッセージを行  
い、峰延町本町の国道12号線沿い

販売」、8月には「カラフル立ち  
きる」とても良い事業になりました。  
6月には「マキタ工具の実演と  
体験で美唄市内の幼稚園・保育園  
と合同で、5月下旬には田植え体  
験、10月には稻刈り体験を行い、  
園児が普段触れる事のない農業  
を伝えることができ、私たち自身  
も作つたものを美味しく食べて貰  
う嬉しさに改めて気付くことができ  
ました。

ている「サツマイモ・落花生」の試験栽培を行い、11月に行いました青年大会にて発表させていただきました。

5月からは営農専門委員会が中心となって行っている営農試験調査が始まりました。今年は「北海道新顔野菜の試験栽培」という事で、北海道で作付面積が増えてき

3月下旬には数年振りの開催となるレクリエーション活動を盟友同士、そして普段接することの少ない農協職員の方々を交え行い、お互いに親睦を深めることが出来ました。

して、美唄市内三農協の青年部と  
合同で「びばい新米収穫祭」とい  
うイベントを行いました。当日は  
天候が悪く、初めてのイベントで  
不安な部分はありましたが、新米  
の無料配布を行う事で大変多くの  
消費者の方に地域の新米を食べて

届いている証だと思いました。

9月と10月の毎週土曜日に実施した肩米集荷では、計2865俵を集荷し、農協による集荷・有利販売に貢献することができたと考えています。

10月には本年度初めての試みとして、美唄市内三農協の青年部と

収量となりました。野焼き防止や不法投棄を無くすと共にリサイクルにも組合員の皆様に関心も持つていただきことで、地域が一丸となりSDGsに則した農業を推進

6月と10月に実施した農業用廃プラスチック回収においては、6月には33770 kg、10月には14040 kgで合計47 tを超える回

上げのきつかけや現状の取り組みについて」という事で管内にて現地研修を行いました。また、7月には視察研修を行い北広島にあるクボタアグリフロントを視察しました。

我々農業者の置かれている状況は依然として厳しく、様々な問題を抱えています。この厳しい状況の中で青年部として何ができるのかを考え、盟友一人一人と絆を深め、地域を守ると共に豊かな未来を切り開いて行きたいと思います。

最後になりますが、青年部活動に対しましてご理解ご協力をいただきました組合員の皆様と、農協を始めとした関係機関の皆様にお礼を申し上げ、今年の総括とさせていただきます。

11月には慰労会という事で、この数年は中止せざるを得ない状況でしたが、今年は無事に開催することができ、盟友同士の親睦を図ることが出来ました。

以上振り返りますと、改めまして沢山の方々に支えられ、今の青年部があるのだと再認識致しまし

最後になりますが、青年部活動に対しましてご理解ご協力をいただきました組合員の皆様と、農協を始めとした関係機関の皆様にお礼を申し上げ、今年の総括とさせていただきます。

## 美唄市内三農協連絡協議会 道外研修を終えて

J A みねのぶ青年部

今野 楓和 太洋

今回私達は11月1日から11月4日の3泊4日で岩手・宮城に視察研修に行つてきました。

1日目は、岩手花巻空港に移動し、その後自由行動となりました。そこで私達は、あけ開酒造の地酒物産館を見学してきました。あけ開酒造では、普通であれば酒米を使用するところを、県内の主食用米品種である「銀河の雫」を使用して製造したり、若手職員が中心となつて「WAKAZO」という、従来とは異なる製造法の日本酒を作つたりと、様々な挑戦をしていることを教えていただきました。

2日目は、小岩井農場の視察を行いました。小岩井農場は、明治時代に、岩手山の麓に広がる火山灰土と湿地の瘦せた土地に、大規模な農場を作るという壮大なプロジェクトとして始まりました。明治政府のもと、強力に推進された鉄道網の敷設によつて、網張街道周辺はほとんど樹木が育たない状

態となつており、当時の鉄道府長官だつた井上勝は、その風景を目にし、「これまで鉄道開発のために失われてきた、たくさんの美田良圃。その埋め合わせに、この荒野を農地に変えたい」と決意をし、日本鉄道会社の副社長だつた小野義眞と三菱社社長である岩崎彌之助の協力を得て、明治24年に農場が開設されました。

農場経営開始当初は、家畜のエサを供給するための乗園づくりや、食糧増産のための麦・稗・大豆・

じやがいもなどの畑作、牛馬の繁殖・販売、牧草の生産など様々な試行錯誤があつたそうですが、農場の経営は、なかなか軌道に乗らなかつたそうです。その後明治32年、農場経営を引き継いだ岩崎久彌は抜本的な対策を実施し、防風林の植林や大規模な土壤改良、暗渠排水網の整備が進められました。経営方針も刷新し、海外から選び抜かれた牛を輸入し、繁殖させ、他の農場に販売することと、日本の酪農の発展に寄与し、また、飲用乳やバターの製造技術を確立し、

130年以上経つた現在も、牛を育て、牛乳を作つているとのことでした。

3日目は、石巻市震災遺構門脇小学校の見学を行いました。最初に石巻市全体の被害について説明を受けました。津波の被害にあつた面積は73平方キロメートルにも及び、石巻市の約18%になるとのことでした。また、震災以前の周辺地域の航空写真が展示しており、この場所まで通つてきた景色との比較ができました。石巻市震災遺構門脇小学校の前にある広大な石巻南浜津波復興祈念公園には元々多くの住宅があり、そのすべてが流されたのだとわかり、テレビ等で見てきた映像以上に、津波の規模の巨大さ、凄まじさを実感しました。



小岩井農場で記念撮影



石巻市震災遺構門脇小学校にて

その後、津波とそれに伴う火災の被害にあつた校舎の見学と、地震が発生した当時の小学校で発生したこと、その対応について説明を受けました。校舎の1階は、大人の背丈ほどまで津波による浸水があり、2階・3階は津波によつて流ってきた瓦礫の中に燃えた瓦礫があつたため火が燃え移り火災になつたということで、被災した当時のまま残されており、被害の大ささを見る事ができました。



津波が来た時の状況に耳を傾ける部員達

また、地震発生時に学校にいた児童は、先生方の引率のもと高台に避難して無事だつたそうで、普段から行つてゐる避難訓練の成果だつたということです。施設内にあつたギャラリーでは、絵画に被災した方の詩が添えて展示してあり、被災者の当時の恐怖や不安が生々しく表現されていました。

この見学を通して、一度災害が起きたとどれほどの被害が起りうるのかということと、日頃から備えがいかに重要かという実感を伴つて学ぶことができました。

童は、先生方の引率のもと高台に避難して無事だつたそうで、普段から行つてゐる避難訓練の成果だつたということです。施設内にあつたギャラリーでは、絵画に被災した方の詩が添えて展示してあり、被災者の当時の恐怖や不安が生々しく表現されていました。

その後、いしのまき元気市場で昼食を食べ、石ノ森萬画館の観光をして3日目が終了しました。

4日目は移動日となり北海道に戻つてきました。

今回の研修に参加させていただき、連絡協議会役員の方々をはじめ、ご支援ご協力を賜りました皆様方、このような経験をさせて頂き本当にありがとうございました。

### J Aみねのぶ青年部が 青年大会を開催

11月22日、農協本所3階大会議室にて、当JAの青年部が令和5年度の青年大会を開催しました。

この日の会場には来賓7名を含む30名が集まり、営農専門委員会による「北海道新顔野菜の試験栽培」と題した営農試験調査の発表を行いました。

この試験栽培は「管内の主要作物の他に加わる高収益作物はないか」をテーマに、サツマイモと落花生の播種・移植作業から収穫作業までの様子や収支の結果などをスライドや動画を使い、栽培を通して見えた来年に向けて考えなければならぬ課題や展望について報告しました。

発表後の質疑応答では、落花生

（岩見沢市北村中小屋）  
皆様、おめでとうございます。  
表彰後は、空知農業改良普及セ

を洗う作業や機械のメンテナンスが大変だつたという感想について、来賓の小林商事の技術顧問の大道雅之氏から「人参洗い機を使うとアドバイスする場面も見られたほか、部員達からも質問がなされ、活発な意見交換もされました。

営農試験調査発表後は、部員が参加した空知管内JA青年部海外視察研修と美唄市内三農協連絡協議会視察研修の報告が行われ、視察先での様子がスライドで紹介されました。

続いて、優良生産者表彰（稻作・麦作・大豆）が行われました。

本年も各作物で3名の候補者が選出され、厳正な審査が行われました。

審査の結果、選ばれた部員は次の通りです。

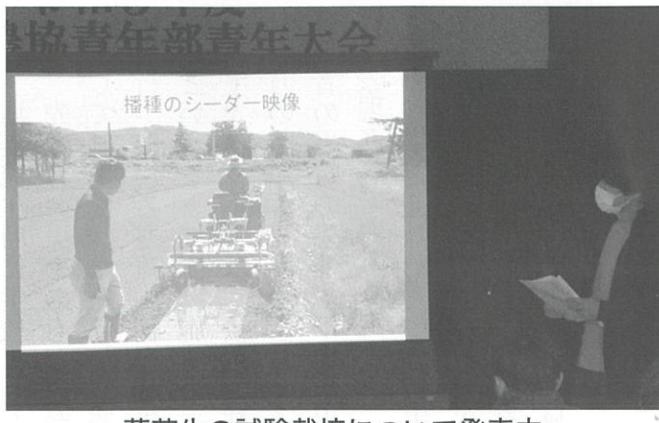
- ・稻作（ななつぼし）の部  
　大友翔平さん（美唄市豊葦町）
- ・麦作（きたほなみ）の部  
　内田貴大さん（岩見沢市峰延町）
- ・R4大豆（ユキホマレ）の部  
　伊藤克哉さん



真剣な表情で耳を傾ける部員達



開会挨拶をする吉村惇青年副部長



落花生の試験栽培について発表中

ンターの服部太郎普及指導員による「R5年産大豆の振り返りと大豆栽培の基礎」と題した講演が行われました。今年は例年にはない高温が続いた管内の作況や生育推移、栽培の基礎となる追肥を含めた施肥、病害虫への有効な防除薬剤などについて詳しく解説され、部員たちは真剣な面持ちで聞いていました。

## 開催予告 女性農業者のためのセミナーを開催します！



このイベントは、地域の女性農業者の方々から、「最近、女性農業者が一同に集まる機会が減少しているのでは?」という声からJAみねのぶ農業振興課が企画し、開催することとなりました。農業者にとって気になる肌のお手入れについては、フリーランスヘアメイクとして活躍されている対馬友理様から、また地域活性化のヒントを得るについては、美唄市地域おこし協力隊の木口モモ様、尾崎心音様から講演をいただきます。ご家族、お友達などお誘いあわせ、ぜひお越しください。おひとりさまの参加も大歓迎です。皆様のご来場をお待ちしております。



### スキンケアについて

肌を綺麗にする1番のポイントは洗顔。美肌は洗い方が8割。洗顔の見直しをし、正しいスキンケアの方法を知る。

講師：対馬友理（つしまゆり）さん  
2005より市内美容室勤務を経て、2014年よりフリーランスヘアメイクとして活動。  
ポスター、CM、イベント、TVロケ、MV、映画のヘアメイク他。



JAみねのぶ  
女性農業者のための  
学びイベント

12月8日(金)

13:30～15:30

会場: JAみねのぶ3F

会議室

参加  
無料

申込み方法  
QRコード、または  
裏面参加申込書を提出



### 地域活性化に向けて

美唄市地域おこし協力隊の木口モモ（きくちもも）さんと尾崎心音（おさきしおん）さんから、美唄市内の事例を中心に地域活性化に向けたヒントを探る。

### タイムスケジュール

13:30 開会

13:35 「スキンケアについて」**対馬 友理 様**



肌を綺麗にする1番のポイントは洗顔。美肌は洗い方が8割。洗顔の見直しをし、正しいスキンケアの方法を知る。

- ・クレンジングの種類
- ・洗顔の種類
- ・そのあとスキンケアのやり方
- ・コットンパックの方法
- ・洗顔のやり方実践

洗顔の体験ができます！（希望者のみ）  
体験していただくとよりわかります。

#### ～ 対馬友理さんの紹介 ～

2005より市内美容室勤務を経て、2014年よりフリーランスヘアメイクとして活動。  
ポスター、CM、イベント、TVロケ、MV、映画のヘアメイク他。

14:35 「地域活性化に向けて」  
**木口 モモ 様・尾崎 心音 様**



**美唄市内の事例を参考に  
地域活性化のヒントを探る**

移住前のこと、移住に至った経緯、そのターニングポイントOTOnare houseの説明：経緯、掲げていること移住してからやってきたこと、やっていること、地域おこし協力隊として、今度何をやっていきたいのか、地域に何ができるのか、皆さんも一緒に考えてみませんか？

15:30 開会

翁のところに越後から出てきた亀藏といふ下僕がいる。ある日、翁が亀藏に「越後は良い国だと聞いているが、どうしてそこを離れて、遠国まで出てきたのか」と聞いたところ、亀藏は、「いいえ、良い国ではありません。田畠の値段は高く、その割には収益が少ないのでです。江戸は大都会ですかから、金を稼ぐには簡単だらうと思つて出てきたのです」と答えたとのことである。翁は、次のように諭したそうである。

その考えは間違つてゐる。越後は、土地が肥沃なところだから、食物が豊富にある。食物が豊富だから、人口も多くなる。人口が多くなつてから田畠を求める人が多くなる。田畠が高価だから、収益率は低下するのである。それから、田畠を求める人が多くなる。田畠が高価になつて、収益が少ないと、いう言葉で表しきつた。しかし、収益は少なくないのだ。収益が大きいから、価格が高くなるのであり、それを、収益が少ないとみて、生國である土地を捨てて、そこから出てしまい、他国を流浪しているのは、大きな誤りである。もし誤りとわかつたならば、その過ちを認めて、すぐさま、越後に帰るがよい。越後のようないい土地はほかには取穫が多い。

# 報德

# 農民は土徳を離れるな



国だと見たのは誤りであつた。このことは、夏の暑い日に、中にいるミミズが蒸し暑さに耐かね、土に外に出れば涼しいのかと、勘違いして土中かでえは出できたところ、太陽に照らされ死んでしまうことに等しい。やはり、ミミズは土中にいてこそ生きていける特徴を持つのであるから、土中にいるのが正しい。なぜなら、ミミズは土中には耐えず、土中でじつとしているのが正しいのである。それを心得違ひを以て、外へ出てきてしまつたことは、間違いが災いを招いた例である。

業務部門		本部事務所(ビル2階) 営業時間 農業資材 販売所	金融店舗 (ビル1階)	ATM (現金自動預払機)	生活店舗 (ビル1階)	峰延給油所
年月日						
令和5年12月	27日(水)	9:00~17:00	窓口 9:00~16:00 為替 9:00~15:00	9:00~18:30	9:00~18:30 *27日~31日まで30分早く開店	8:00~19:00
	28日(木)	〃	〃	〃	〃	〃
	29日(金)	〃	〃	〃	〃	〃
	30日(土)	休業	休業	〃	〃	〃
	31日(日)	〃	〃	休業	9:00~15:00 *31日は15時で閉店	8:00~13:00 *31日は13時で閉店
	1日(月・祝)	〃	〃	〃	休業	休業
	2日(火)	〃	〃	〃	〃	〃
	3日(水)	〃	〃	〃	〃	〃
	4日(木)	〃	窓口 9:00~16:00 為替 9:00~15:00	9:00~16:00	〃	〃
	5日(金)	〃	〃	〃	11:00~15:00(初売り) *営業時間変更	8:00~18:00(初売り) *5日は18時で閉店
令和6年1月	6日(土)	〃	休業	9:00~18:00	9:30~18:00	8:00~19:00
	7日(日)	〃	〃	〃	〃	8:00~18:00
	8日(月・祝)	〃	〃	休業	〃	〃
	9日(火)	9:00~17:00 [新年常会 10:00~]	窓口 9:00~16:00 為替 9:00~15:00	9:00~18:00	〃	8:00~19:00

※ATM（現金自動預払機）は、1月4日・5日の両日は通常より早く午後4時で閉めますのでご注意ください。

年末年始の

当JAの年末・年始の営業時間をお知らせします。

皆さまのご利用をお待ち申し上げます。

#### J A駐車場の夜間・早朝の駐車厳禁

当J.Aをご利用いただくお客様の駐車場は、本部ビル裏駐車場と生活店舗横駐車場、JR峰延駅周辺、営農事務所前などにありますが、冬期間はこれらの駐車場の除雪排雪作業を行っています。

除排雪作業は当JAが委託した業者が行っていて、除排雪作業はJAの営業時間外に行うため、JAの営業時間終了後から翌日朝8時頃までの時間帯に駐車をされますと除排雪作業の支障となりますので、この時間帯の駐車は厳禁といたします。

この時間帯の駐車は厳禁といつたします。  
何卒ご理解とご協力をお願いいたします。  
(公設政廳)

#### 令和6年のカレンダー・手帳進呈

当JAでは、令和6年度のカレンダーとポケット手帳を組合員の皆様に進呈しています。進呈に当たっては、例年、農事組合長さんにお願いしておりますが、この時は車に積む量の都合から、組合員宅1戸に各1つずつの配付となっております。よって1戸で2人以上組合員にご加入いただいている場合は全員にお届けできません。

そのため、当初の配付で行き渡らない方で、カレンダー、ポケット手帳をご希望の方は、誠に恐れ入りますが、当JA 2階事務所までお越しいただき職員にお申し付け下さいますようお願ひいたします。

なお、用意した数量には限りがありますのでお早めに受け取られますようお願いいたします。(総務課)

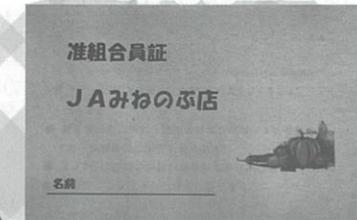
八田 とき子さん	(93歳)	10月29日
濱田 隆さん	(90歳)	11月7日
美唄市峰延町峰樺3区	美唄市光珠内町北	
杉本 ミイさん	(92歳)	11月8日
岩見沢市北村中小屋3775番地	美唄市上美唄町南	
中山 キヨさん	(96歳)	11月19日

今年も実施しますよ！

# 2023 ビッグウインターフェール

セール期間：令和5年11月23日(木)～12月25日(月)

ポイントがいっぱいになつた組合員証のご提示で  
5%OFF！



期間中のお買い物でJA正・准組合員証（スタンプカード）をご提示いただぐと  
ポイントがどどん倍

10倍！

JA正・准組合員証のご利用者トップ数名の方々には、2月に豪華特典が！  
どんどんお買い物をして、ポイントをGETしましょう！

ポイントUPのチャンスはこの日！

12月

2日(土)・3日(日)

9日(土)・10日(日)

16日(土)・17日(日)

23日(土)・24日(日)

30日(土)・31日(日)

<2023ビッグウインターフェール大抽選会のお知らせ>

令和5年12月28日(木) 14:00～ JA本所3階 大会議室



期間中、お買い上げ金額1,000円（当日限り）につき、抽選補助券1枚、5,000円につき、抽選本券を1枚贈呈致しますので、カウンターに設置してある抽選箱に入れて下さい。

抽選補助券5枚で抽選本券1枚と交換しますので、1回抽選に参加できます。（必ず抽選補助券5枚を抽選本券に交換してから、抽選箱に入れて下さい）

※ 還元セール、その他取りまとめは「対象外」となりますので、予めご了承願います。